

豊似湖の利用者数と利用者について (2017年度)

高木大稔¹⁾ 中岡利泰¹⁾

キーワード

えりも町、豊似湖、入込者数、利用者、保全、
ワイズユース

はじめに

北海道えりも町にある豊似湖において、2015年度から自動カウンターを用い、豊似湖と猿留山道（沼見峠）の入込者数と利用者の調査を行った。（高木ら 2015, 2016）

豊似湖の入込者数は、2015年度 885人（8月～11月）、2016年度 2,055人（6月～11月）であった。利用者数は土日祝日に多く、中には1日当たりの入込者数が50人を超える日もあった。

猿留山道の利用者数は、2015年度に大型の野生動物との判別が困難であったことから、2016年は自動カウンターと同期するように設置したデジタルカメラで利用者が撮影された時間のカウント数を利用者数とし、101人の利用が見られた。撮影された写真から、大半の利用者がトレッキング装備などであったが、一部に半袖・半ズボンやサンダルでの好ましくない服装での利用者などが見られた。

豊似湖やその周辺には、ニホンザリガニ（絶滅危惧種Ⅱ類）やリシリシノブ（準絶滅危惧種NT）、クマゲラ（絶滅危惧種Ⅱ類）などの貴重な動植物が生息、生育しており、保全すべき環境であるが、週末を中心に1日に50人程度の利用者が訪れることもあり、自然環境への影響が懸念されている。（高木ら 2015, 2016）

えりも町では豊似湖を襟裳岬に次ぐ観光地としての活用を検討し、ヘリコプター遊覧飛行など様々な試みをしていることから、今後さらなる観光客の増加が予想される。

そこで、2017年度は、2015年、2016年に引

き続き、豊似湖自然環境や生息する野生生物を保全・保護しながら観光資源として活用していくための方策（ワイズユース＝賢明なる利用）を進める基礎資料とするため、豊似湖の利用者について調査を行ったので報告する。

豊似湖について

豊似湖はえりも町と広尾町の町境にある目黒地区から林道を約8.5km進んだ日高山脈襟裳国定公園内道有林に位置している。湖は周囲約1km、湖岸の岩石の状態から深い谷間が山崩れのためにせき止められて生じたものと考えられている（羽田ら 1938）。湖は馬蹄の形を成しているため、地元では馬蹄湖とも呼ばれている。また、湖の山側には、東方の山陵に沿って猿留山道が通じている。

調査方法

調査は2017年5月21日～11月21日までの180日間実施した。豊似湖と豊似湖駐車場間の遊歩道を設置箇所A（以降T1）、湖奥の龍神祠の数十m山側の地点を設置箇所B（以降T2）として行った（図1）。

調査には自動カウンター（TRAILMASTER TM1550）を用いた。T2には猿留山道（沼見峠）の利用者の状況（服装などの装備）を把握するため、デジタルカメラ（Nikon COOLPIX）を自動カウンターと連動するように設置した。

デジタルカメラのバッテリーの充電も含め、10日に1回程度データを回収した。回収したデータは、5時～19時までのものを解析に用いた。19時～翌5時までの夜間は、野生動物などの往来の可能性が高く、人の入込みがないものとして除いた。降雨による影響として5時～12時、12時～19時のそれぞれについて、1時間当た

1) えりも町郷土資料館 〒058-0203 北海道幌泉郡えりも町字新浜 207番地 E-mail : erimomus@cocoa.ocn.ne.jp

り 1 mm以上の降水量があった場合（気象庁では 1 mm/h 以上で降雨とみなす）は、降雨により人の入込みである可能性が低いものとしてデータの解析に用いなかった。

T1 については、利用者が豊似湖駐車場～湖間を必ず往復するものと仮定し、カウンター数／2を豊似湖の利用者数とした。

T2 については、豊似湖以外のコースを利用して沼見峠に行く登山者が帰路通過することがわかっていること、大型哺乳動物の往来が多く、その判別が難しいことから、デジタルカメラの写真（撮影時間）とカメラ作動時のカウンターのデータから利用者数を導き、猿留山道（沼見峠）の利用者数とした。

T1、T2 の双方について 1 日当たりの利用者数の平均は小数点第 1 位を四捨五入した。

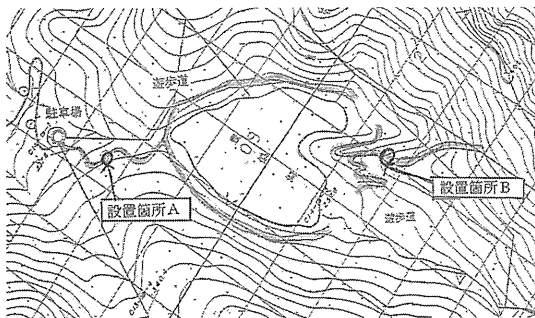


図 1：調査地点 (1：5000)

結果

1. 豊似湖の利用者数について

集計した T1 の自動カウンターのデータを表 1. に示した。豊似湖の利用者数は、調査期間 5 月 21 日～11 月 21 日の 180 日間で 2,039 人であった。1 日あたりの入込者数は約 11 人、曜日別では、日曜日が最も多く、全体の 26%であった。(図 2)。

利用者数を月別にみると、10 月の入込者数が最も多く 520 人と全体の 25%以上を占めた。これは、10 月 28 日実施の猿留山道を歩く会（猿留山道を歩く会実行委員会主催）やえりも町が行った豊似湖ヘリコプター事業(9 月 30 日～10

月 22 日) による入込者数の増加が大きいと推測される。

1 日の利用者数が一番多かったのは 10 月 14 日(土)で、83 人の利用がみられた。

2. 猿留山道の利用者数について

集計した T2 の自動カウンターのデータを表 2. に示した。猿留山道（沼見峠）の利用者数は 73 人、そのうち 27 人が往復した。

最も利用者が多かったのは、10 月 28 日（猿留山道を歩く会開催日）で 41 人の利用者がみられた。

3. デジタルカメラで撮影された写真について

T2 の自動カウンターに同期して設置したデジタルカメラの写真では計 129 枚の写真が撮影され、ヒト 22 枚(17%)、エゾシカ 71 枚(55%)、その他 36 枚(28%)であった(図 3)。

今年度の調査ではヒグマは撮影されなかった。

撮影された利用者の中には半袖などの適切でない服装の利用者が確認された。(写真 2)



写真 1：本調査で撮影されたエゾシカ



写真 2：本調査で撮影された軽装の利用者

まとめ

本調査では、豊似湖の利用者数は5月下旬から11月下旬の6か月間で2,039人であった。

5月の上旬に大型連休があること、冬場の湖面が凍結する季節には豊似湖へワカサギ釣りに訪れる利用者もいるから、さらに多くの利用者がいると推測される。

過去の3年間のデータから1日当たり平均で10人程度の利用者が見られた。利用者はお盆やシルバーウィークなどの連休や、紅葉シーズンに集中し、土曜日と日曜日に多いという傾向がみられた。また、えりも町が行った豊似湖ヘリコプター事業期間中の豊似湖入込者数は2015年(9/19-10/5 17日間) 220人、2016年(9/17-10/10 24日間) 395人、2017年(9/30-10/22 23日間) 448人であり、この事業の広報が豊似湖の入込者数に与える影響は大きいと推測される。

調査地点 T2 では73人の利用が見られたが、往復した27人の利用者のうち6人が1時間以内に戻ってきていることから、沼見峠までは行かず、途中で引き返してきたと考えられる。また、デジタルカメラが、自動カウンターのカウント数すべてに対して作動しているわけではないこと、デジタルカメラの内部に雨が浸水、結露し、84日間データが得られなかったことを考慮すると、より多くの利用者があると考えられた。

利用者の中には半袖・半ズボンや自然の中に入るのに適していない靴(パンプスやサンダル)での利用者が確認されたが、ヒグマ、ウルシ、マダニ、スズメバチなど人に危害を与える生物がいること、足元が不安定であることから、軽装ではなく自然の中に入ることを意識した服装が必要なこと等について、来訪者に伝えることが重要である。

豊似湖周辺にはリシリシノブやエゾナキウサギなどの希少な生物も生育・生息しており(高

木ら, 2015)、自然環境や秘境としての価値が高く、どこにでもある観光地をとするのではなく、ナキウサギやキタキツネなどの野生動物が観察できる自然度が高い特性を活かし、豊似湖の豊かで特徴的な自然環境を、保全し、後世に伝え、残していくことが求められている。

本研究が今後、豊似湖の自然環境を保全しつつ、継続的に利用していくための一助になれば幸いである。

文献

- 羽田良禾・楠木義明(1938) 豊似湖の水質と生物. 陸水学雑誌 P:53-67
- 高木大稔・中岡利泰(2015) 豊似湖の利用者数と利用者について(2015年度) えりも研究第13号 P:1-6
- 高木大稔・中岡利泰(2015) 豊似湖観察会および豊似湖入込者数調査で確認された動植物 えりも研究第13号 P:7-8
- 高木大稔・中岡利泰(2016) 豊似湖の利用者数と利用者について(2016年度) えりも研究第14号 P:17-30
- 気象庁HP <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>

表1.豊似湖利用者数(人)(T1)

5月					
	利用者数(人)	調査日数(日)	1日当たりの利用者数(人) (利用者数/調査日数)	利用日数	未利用日数
平日	71	8	9	8	1
土日祝	62	3	21	2	0
計	133	11	12	10	1
6月					
	利用者数(人)	調査日数(日)	1日当たりの利用者数(人) (利用者数/調査日数)	利用日数	未利用日数
平日	144	22	7	19	3
土日祝	145	8	18	8	0
計	289	30	10	27	3
7月					
	利用者数(人)	調査日数(日)	1日当たりの利用者数(人) (利用者数/調査日数)	利用日数	未利用日数
平日	150	20	8	19	1
土日祝	183	11	17	10	1
計	333	31	11	29	2
8月					
	利用者数(人)	調査日数(日)	1日当たりの利用者数(人) (利用者数/調査日数)	利用日数	未利用日数
平日	217	20	11	20	0
土日祝	125	6	21	6	0
計	342	26	13	26	0
9月					
	利用者数(人)	調査日数(日)	1日当たりの利用者数(人) (利用者数/調査日数)	利用日数	未利用日数
平日	162	20	8	18	2
土日祝	137	10	14	9	1
計	299	30	10	27	3
10月					
	利用者数(人)	調査日数(日)	1日当たりの利用者数(人) (利用者数/調査日数)	利用日数	未利用日数
平日	230	21	11	18	3
土日祝	290	10	29	9	1
計	520	31	17	27	4
11月					
	利用者数(人)	調査日数(日)	1日当たりの利用者数(人) (利用者数/調査日数)	利用日数	未利用日数
平日	27	14	2	6	8
土日祝	96	7	14	5	2
計	123	21	6	11	10
合計(180日)					
	利用者数(人)	調査日数(日)	1日当たりの利用者数(人) (利用者数/調査日数)	利用日数	未利用日数
平日	1001	125	8	108	18
土日祝	1038	55	19	49	5
計	2039	180	11	157	23

※利用日数 (自動カウンターでカウントされていた日数)

未利用日数 (自動カウンターでのカウントがなかった日数)

表2. 猿留山道（沼見峠）の利用者数

5月						
	カウント数	調査日数(日)	1日当たりの利用者数(人) (利用者数/調査日数)	カウント日数	未カウント日数	写真+カウンター判定(人)
平日	28	8	4	4	4	5
土日祝	57	3	19	2	1	0
計	85	11	8	6	5	5

6月						
	カウント数	調査日数(日)	1日当たりの利用者数(人) (利用者数/調査日数)	カウント日数	未カウント日数	写真+カウンター判定(人)
平日	29	22	1	7	15	0
土日祝	23	8	3	3	5	10
計	52	30	2	10	20	10

7月						
	カウント数	調査日数(日)	1日当たりの利用者数(人) (利用者数/調査日数)	カウント日数	未カウント日数	写真+カウンター判定(人)
平日	64	20	3	10	10	0
土日祝	21	11	2	5	6	1
計	85	31	3	15	16	1

8月						
	カウント数	調査日数(日)	1日当たりの利用者数(人) (利用者数/調査日数)	カウント日数	未カウント日数	写真+カウンター判定(人)
平日	32	22	1	6	18	7
土日祝	18	9	2	6	3	4
計	50	31	2	12	19	11

9月						
	カウント数	調査日数(日)	1日当たりの利用者数(人) (利用者数/調査日数)	カウント日数	未カウント日数	写真+カウンター判定(人)
平日	273	20	14	12	8	0
土日祝	88	10	9	8	2	1
計	361	30	12	20	10	1

10月						
	カウント数	調査日数(日)	1日当たりの利用者数(人) (利用者数/調査日数)	カウント日数	未カウント日数	写真+カウンター判定(人)
平日	27	21	1	6	15	4
土日祝	52	10	5	4	6	41
計	79	31	3	10	21	45

11月						
	カウント数	調査日数(日)	1日当たりの利用者数(人) (利用者数/調査日数)	カウント日数	未カウント日数	写真+カウンター判定(人)
平日	10	14	1	2	12	
土日祝	31	7	4	4	3	
計	41	21	2	6	15	

合計(185日)						
	カウント数	調査日数(日)	1日当たりの利用者数(人) (利用者数/調査日数)	カウント日数	未カウント日数	写真+カウンター判定(人)
平日	463	127	4	47	82	16
土日祝	290	58	5	32	26	57
計	753	185	4	79	106	73

※カウント日数 (自動カウンターでカウントされていた日数)

未カウント日数 (自動カウンターでのカウントがなかった日数)

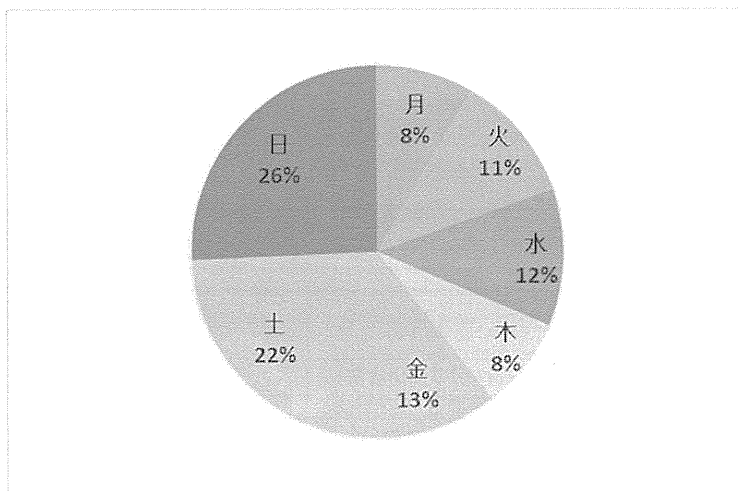


図2：利用者数の割合% (曜日別)

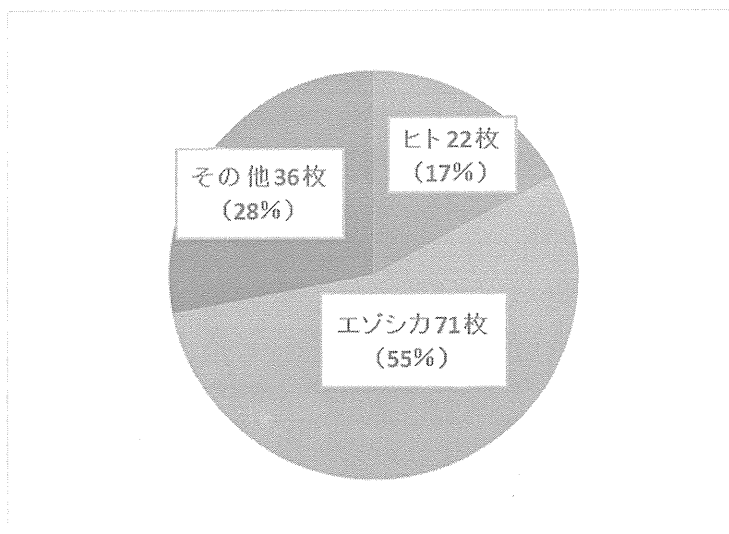


図3：デジタルカメラで撮影された写真 内訳 (全 129 枚中)

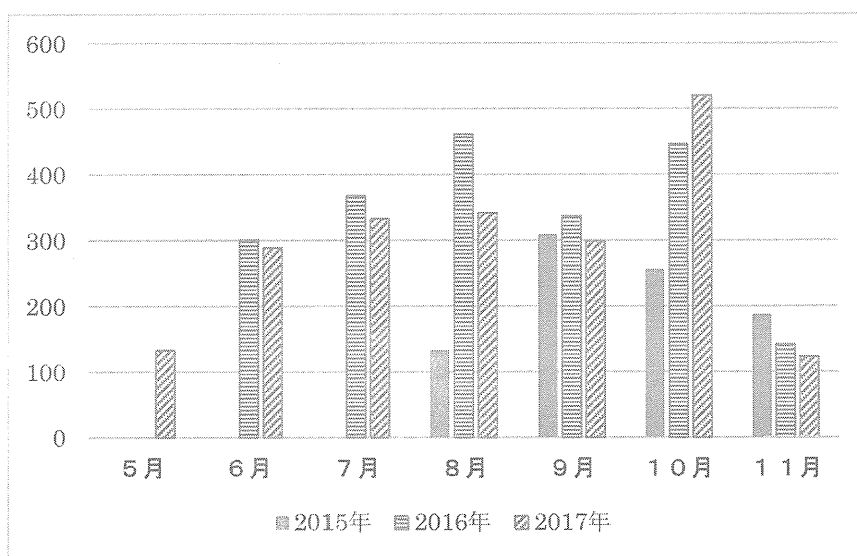


図4：豊似湖入込者数 (年別)